本書は商品を正確により安全に、取付・施工して頂く為の注意事項や施工方法が記載してあります。
良く理解をして頂いた上での取扱いをお願い致します。

施工要領書

経済的　安　全　快　適

◆SWIFE各種認定

PL保険加入

賠償責任保険普通保険約款+生産物特別約款

工場認定　ISO　14001認証　　**ISO**　9001認証　CE　UL　TÜVRheinland®

販売・取扱店

製造・販売元

株式会社 KJC

http://www.swaife.jp

本社：〒803-0801

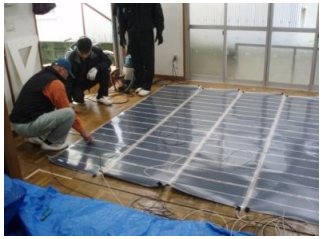
北九州市小倉北区西港町15番地　ホクザイビル3階

TEL：093-562-7722　　FAX：093-562-7755

施工手順

基本的な施工（釘打ち・フロア仕上）

本商品を初めてお使い頂く施工店様の為に、現場説明会を行います。
現場担当者様、大工様、電気工事士様の同席のもとで行いますので、
早めに日程を調整の上当社担当までご連絡下さい。

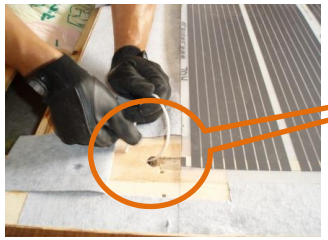


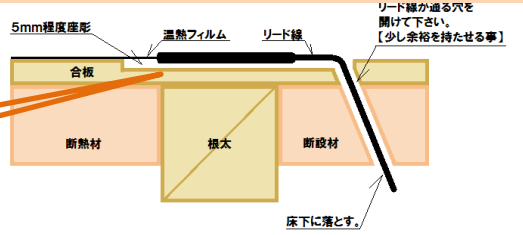
①施工前の確認

フロア貼り方向、貼り始め位置の確認、配線方法、
接続ボックスの位置、コントローラの位置等を確認
墨出しを正確に！

②敷設位置の確認・座彫

SWAIFEの敷設部分に墨を出し、座彫、穴開け
位置を決定します。
【活性炭シートを敷く際、墨が隠れてしまうので
予め考慮しての墨出しをお願いします。】





③敷設面の掃除

敷設面の下にゴミが入ったまま施工すると床鳴りや、傷によるフィルムの破損・漏電の恐れが有ります。

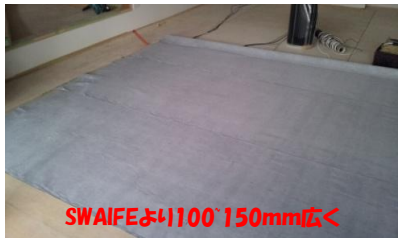
⑤SWAIFEシートの敷設

敷設時にSWAIFEのロゴマークが裏向きにならない様に、ご注意ください。
SWAIFEシートを引きずったり、曲げたりしないで下さい。

折れ曲がったり、傷の付いたSWAIFEは使用できません。

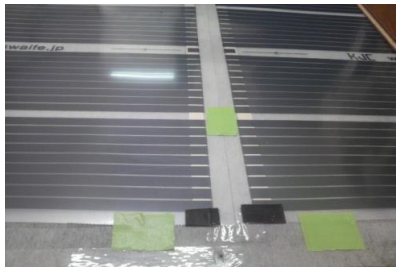
⑥現場合成抵抗値の測定

接続後、敷設面毎に抵抗値を測定します。
工場合成抵抗値との差が±10以内で有れば合格です。【数値が大幅に違う場合は担当者まで、ご連絡下さい】



④活性炭シートの敷設

活性炭シート同士が重ならない様に、突き付けで敷設し養生テープで固定して下さい。
【タッカーは使用不可】



SWAIFEが動かない様に養生テープで固定します。

フロアを固定する際、下地固定の釘・ビス等に釘が当たり、跳ね返る恐れが有ります。
釘打ち時は十分注意して下さい。

仮設で単相の200Vが取れる場合は一旦通電して、昇温検査を行います。
【取れない場合は省きます】

⑦絶縁抵抗値の測定

フロア貼り完了後、絶縁抵抗値（MΩ）を測定します。【正常な範囲から逸脱している場合は、速やかに担当者までご連絡下さい。】

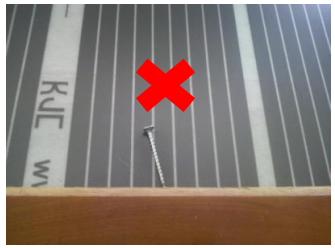
⑧昇温検査

上の写真は赤外線温度計でSWAIFEの温度上昇を確認している写真です。
体感で温度上昇が確認出来れば問題は有りません。

ボルト数の確認も忘れずに！

◆施工時の注意事項◆

傷ついたSWAIFEを施工して事故が発生した場合、当社は一切の責任を負えません



釘打ち可能部分以外の発熱帯や電極部分への釘打ち

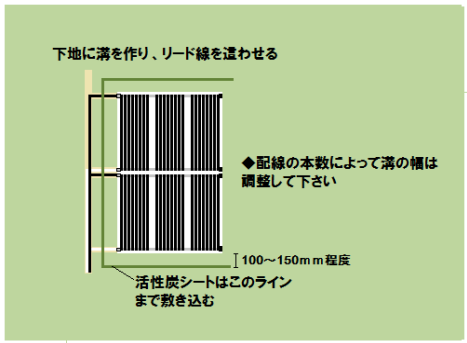
使用できません！

SWAIFEの上は土足厳禁

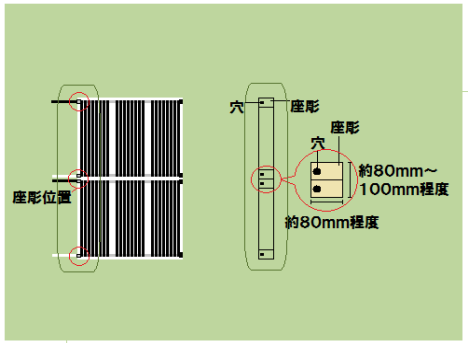
梱包から出す時や施工時に乱雑に扱い傷をつける

SWAIFEが丸まった状態で踏み付けて折曲がる

施工要領書に基づき正しく確実な方法で安全に施工して下さい。万が一本書と異なる施工を行い事故が発生した場合の責任は負いかねます。



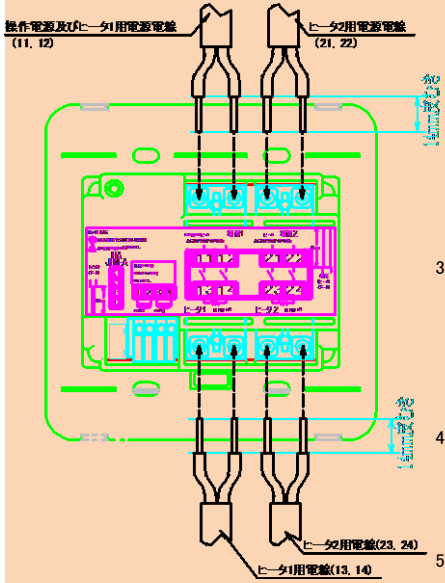
置き床や、床下に施工スペースが無い場合



戸建や床下に人が入れる場合

電気配線

※アース視線は必要有りません。温度センサーは使用しません



a.電源電線及びヒータ用電線（11, 12, 21, 22, 13, 14, 23, 24）

①単線φ1.6mm～2.0mmを **14mm** 皮むきして下さい。
皮むき線長14mmは厳守して下さい。ヒータ回路につき、皮むき線長が短いと接触不良、長いと他回路とのショートにより発熱し危険です。

②挿入感があるまでしっかり**奥まで差し込んで**下さい。(図3)
ヒータ回路につき、奥まで挿さないと接触不良により発熱し危険です。

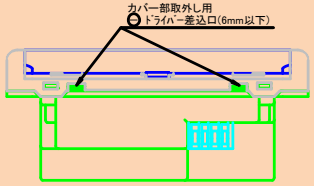
③挿入後、軽く引っぱり抜けないことを確認して下さい。
※1回路のみ使用の場合は、必ずヒータ1に接続して下さい。
※2回路使用の場合は、必ずヒータ2用電源を接続して下さい。

3)ケース部をははさみ金具などを用いて壁に取り付けて下さい

取付ネジを締め付ける際は、電線の収まりに注意し、**無理のないよう締め付けて**　下さい。
無理に締め付けすぎると、本体が変形してフタの開閉に支障をきたしたり、カバー部が外れやすくなるなど、製品の商品価値を損ねる場合があります。

4)カバー部「上」を天側にしてケース部に取付けて下さい。
ケース4隅の凸部を、カバーの凹部にしっかりとかみ合わせてください。また、コネクタが奥までかみ込むようにカバー部右2隅をしっかりと押し付けて下さい。勘合が不十分だとカバー部が外れたり、誤動作のおそれがあります。

5)カバー部取外し時は、コントローラ下部の差込口に⊖ドライバーを差込み、カバー部側にこじって下さい。



【1次側配線】
電源はヒーター1用、ヒーター2用合わせて18A以内であれば渡り配線で使用できます。

【2次側配線】
敷設面毎のリード線（白・黒それぞれ）をまとめVVFケーブルと並列で結線して下さい。

保証書発行に関する施工規定

KJC　北九州住宅資材共同輸入株式会社　SWAIFE

物件名　：

① 【現場施工説明】　SWAIFE施工が初めての業者様には弊社にて現場施工説明を行います。
（大工・電気工事士ともにおりず現場の上、施工説明希望日は余裕を持って事前にご連絡下さい。内線規定に準じて施工を行って下さい。）
② 【 断 熱 材 】 床暖房本来の性能が十分発揮できるよう、床下には必ず適切な断熱材をご使用下さい（保証対象　3種30mm以上）
断熱材は必ず下地材に完全に密着させて下さい。　（断熱材を使用していないと保証の適用外となります）
③ 【検査表の提出】　安全確保・事故防止のため、施工者（電気工事士）は必ず「SWAIFE完成工事検査表」記載の
検査を実施し弊社にご提出願います。弊社にて検査を確認後「保証書」を発行・郵送させて頂きます。
④ 【 ボ ル ト 数】SWAIFEは、200Vでの仕様となります。
⑤ 【フローリング仕上げ】仕上げ材がフローリングの場合、SWAIFE（フィルムヒーター）とフローリングは相互平行で敷設下さい。
（仕上げ材の確認を必ず行って下さい）
⑥ 【 ご確認事項 】　ご発注前に必ずSWAIFE（フィルムヒーター）のサイズと敷設方向、並びにボルト数、回路数、を確認して下さい。
フィルム敷設時に表・裏を間違えないようにして下さい。（フィルムの文字が読める方が上面です。
⑦ 【 畳 仕上げ 】 仕上げ材が畳の場合に、床暖房専用畳表をご使用下さい（30mm程度）
⑧ 【特殊フローリング】フローリングの場合で基材が合板ではない場合には、通常の施工方法では対応できない場合があります
ご発注前に事前に必ずご相談をお願い致します。
⑨ 【 30年 保証 】通常の保証は2年ですが、弊社が別途規定する条件にて現場・施工願いた場合、30年保証（10年毎更新）を
適用させて頂きます。　（コントローラーは除く）　申請は弊社担当にて別途ご説明申し上げます。（コントローラ2年保証）

上記の表にはSWAIFEを正く安全に施工して頂く為の施工方法・注意事項事前確認事項等を記
しております。よくご理解して頂いてから施工して頂くようにお願いします。
万が一内容と異なる施工や条件で施工して、事故が起きた場合は、当社は一切の責任を負いねますので、あらかじめご了承ください。

◆検査の流れ

①現場合成抵抗値の測定・確認
②絶縁抵抗値の測定
③昇温検査
④床仕上げ後、再度絶縁抵抗値
　ボルト数の確認
⑤現場住所の記入
⑥施工して頂いた電気工事士
　様の記入
⑦保証書送付先の記入

指数事項をご記入の上、FAX
または郵送にて当社へ必ず
ご返却下さい。

仮設電源が取れない場合は③昇温検査
は省略しても構いません。
【本設引込後に昇温検査・試運転を行って下さい】

◆保証書の発行【2年保証】

申請書をご返却後、記入漏れ・数値の検証を行い、異常が無ければ保証書を発行いたします。
【通常2年保証、諸手続完了後10年保証・最長30年まで更新可能】

保証書

必ず保証書申請書・チェックシートのご返却をお願いいたします。
記入漏れがございますと、保証書の発行が出来ない場合が有ります。

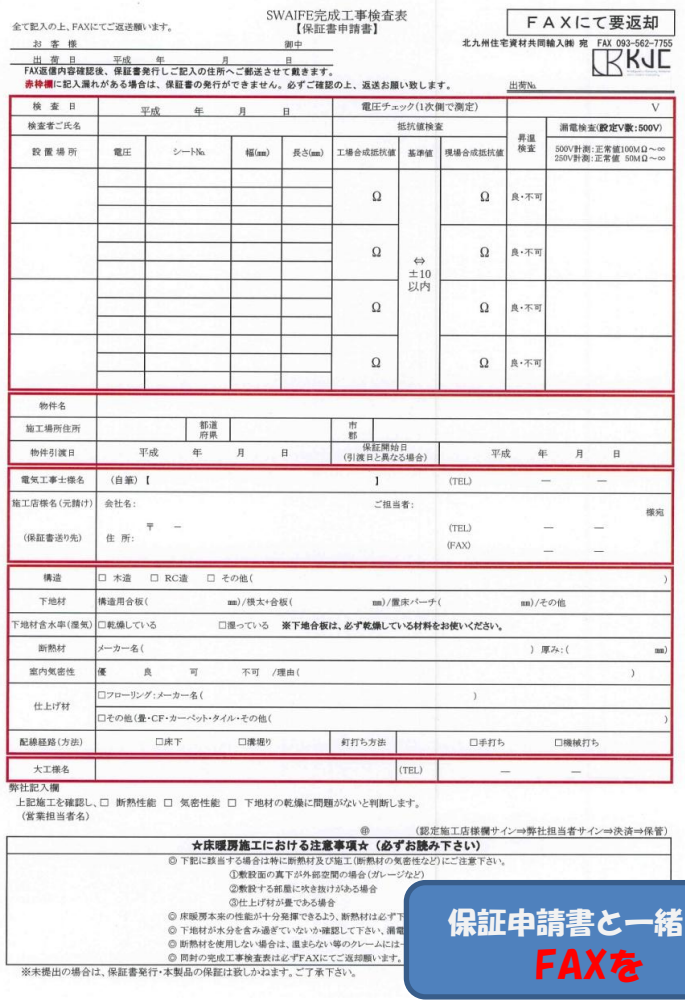
チェックシート記入

①施工日時　④断熱材・下地材　⑦配線結線・釘打ち方法

②施工住所　⑤機密性⑧　保証書送付先

③部類　⑥仕上材　⑨施工して頂いた大工様記入

赤枠内の記入をお願いします。【検査は電気工事士の有資格者が必ず行って下さい。】



SWAIFE完成工事検査表
【保証書申請書】

ＦＡＸにて要返却

北九州住宅資材共同輸入㈱ 宛　FAX 093-562-7755

KJC

全て記入の上、FAXにてご返送願います。

お 客 様　　御中

出 荷 日　平成　年　月　日

FAX返信内容確認後、保証書発行しご記入の住所へご郵送させて戴きます。

赤枠欄に記入漏れがある場合は、保証書の発行ができません。必ずご確認の上、返送お願い致します。

出荷No.

検査日	平成　年　月　日				電圧チェック(1次側で測定)				V
検査者ご氏名					抵抗値検査			昇温検査	漏電検査(設定V数:500V)
設置場所	電圧	シートNo.	幅(mm)	長さ(mm)	工場合成抵抗値	基準値	現場合成抵抗値		500V計測:正常値100MΩ～∞ 250V計測:正常値 50MΩ～∞
					Ω	⇔ ±10 以内	Ω	良・不可	
					Ω		Ω	良・不可	
					Ω		Ω	良・不可	
					Ω		Ω	良・不可	

物件名					
施工場所住所		都道府県		市郡	
物件引渡日	平成　年　月　日		保証開始日(引渡日と異なる場合)	平成　年　月　日	

電気工事士様名	(自筆)【　　】	(TEL)　—　—
施工店様名(元請け)	会社名:　ご担当者:　様宛	
(保証書送り先)	〒　－ 住 所:	(TEL)　—　— (FAX)　—　—

構造	□ 木造　□ RC造　□ その他(　　)
下地材	構造用合板(　　mm)/積太+合板(　　mm)/畳床パーチ(　　mm)/その他
下地材含水率(湿気)	□乾燥している　□湿っている　※下地合板は、必ず乾燥している材料をお使いください。
断熱材	メーカー名(　　)　厚み:(　　mm)
室内気密性	優　良　可　不可　/理由(　　)
仕上げ材	□フローリング:メーカー名(　　) □その他(畳・CF・カーペット・タイル・その他(　　)
配線経路(方法)	□床下　□撫堀り　釘打ち方法　□手打ち　□機械打ち

大工様名		(TEL)	— —

弊社記入欄
上記施工を確認し、□ 断熱性能 □ 気密性能 □ 下地材の乾燥に問題がないと判断します。
(営業担当者名)　　㊞　(認定施工店様欄サイン⇒弊社担当者サイン⇒決済⇒保管)

☆床暖房施工における注意事項☆（必ずお読み下さい）

◎ 下記に該当する場合は特に断熱材及び施工(断熱材の気密性など)にご注意下さい。
①敷設面の真下が外部空間の場合(ガレージなど)
②敷設する部屋に吹き抜けがある場合
③仕上げ材が畳である場合
◎ 床暖房本来の性能が十分発揮できるよう、断熱材は必ず下
◎ 下地材が水分を含み過ぎていないか確認して下さい。漏電
◎ 断熱材を使用しない場合は、温まらない等のクレームには
◎ 同封の完成工事検査表は必ずFAXにてご返却願います。

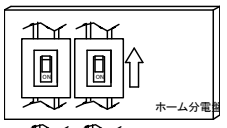
※未提出の場合は、保証書発行・本製品の保証は致しかねます。ご了承下さい。

保証申請書と一緒に！
FAXを

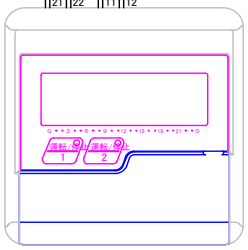
◆施工テストモード【動作チェック】を行って下さい◆

3. 設定

1)ヒータの絶縁抵抗値が±10%以内であることを確認して
※10%以上ない場合は配線を見直して下さい
2)電源1、電源2(11, 12, 21, 22)をONにして

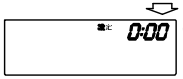


引渡し前に試運転を！



3)時計設定をして下さい。

①設定スイッチを長押しして



②△スイッチまたはマスイッ
時刻に合わせて下さい。

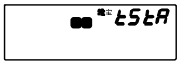
③設定スイッチを押して下さ
0秒スタートし、停止画面に

(例)14:30に合わせる場合

4. 施工テストモード(動作チェック)

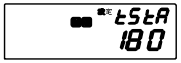
1)施工テスト設定

①左記の停止画面にて設定ス
と▽スイッチを同時に3秒以上
下さい。



②運転/停止スイッチを押して、
を行うゾーンを決定して下さ
テスト実施ゾーンのLEDは黄
点灯します。
(1回路のみ使用の場合は、ゾ
LEDは消灯させて下さい。)

③設定スイッチを押して下さい。



④△スイッチまたはマスイッチ
行う希望の通電時間に変更し
(10～990秒、10秒単位)

(初期状態)

⑤設定スイッチを押して下さい。
パターン制御の場合は、⑧へ

⑥△スイッチまたはマスイッチ
テスト通電で確認したい上昇
変更して下さい。
(OFF～20.0℃、1.0℃単位)

(初期状態)

⑦設定スイッチを押して下さい。

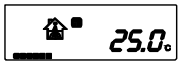
⑧設定スイッチを長押しして下
施工テストモードが開始され

テスト実施ゾーンのLEDが赤色に点灯します。

2)施工テスト内容

①停止チェック
進捗表示(0:00-2:00、12:00-14:00)
リレーOFFの状態で、リレー溶着検出
がないことを確認します。

②リレー動作チェック
進捗表示(2:00-4:00、14:00-16:00)
リレーをONにし、リレー2次側の電圧
検出を確認します。



③温度センサチェック
進捗表示(4:00-6:00、16:00-18:00)
温度センサ値が正しく計測されてい
ことを確認します。
パターン制御の場合は、スキップし

④温度上昇チェック
進捗表示(6:00-12:00、18:00-24:00)
該当ゾーンを設定した通電時間、
通電制御し、温度値が正しく設定温
以上に上昇してくることを確認します
パターン制御の場合は、温度上昇は

⑤ゾーン切替
別のゾーンが選択されている場合
は、同様に確認します。

3)施工テスト結果表示

①[Gd]表示
最後まで正常に進み終了
表示されます。

②[nG]表示
途中で異常を検出した場
されます。

③エラー表示
異常内容を表示します。
異常内容は次の通りです。
[nG]と1秒間表示した後、
表示します。LEDは赤色点
します。

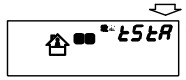
異常内容

表示	内容
F1	□リレー溶着
FH	□リレー通電異常
E1	□センサ過昇
E2	□センサ断線
E3	□センサ短絡
EU	□温度が設定値まで上昇せず
EC	□センサ逆接続(もう一方のゾーンの温度上昇検出)

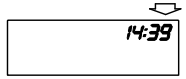
(□は異常検出ゾーン)

4)施工テスト中断/終了

①中断
施工テスト中、設定スイッ
中断し、起動画面に戻りま



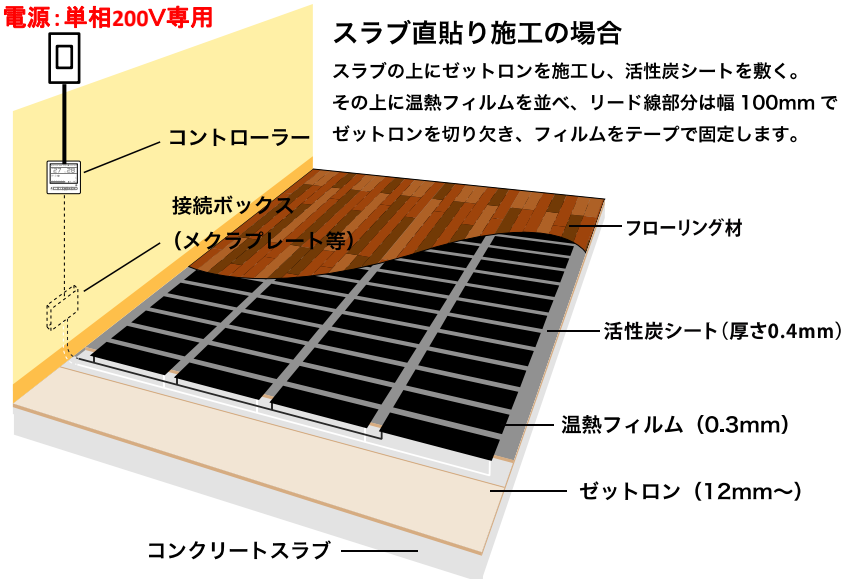
②終了
起動画面または結果画面
スイッチを長押しすると、
を終了し、停止画面に戻り



電源：単相200V専用

スラブ直貼り施工の場合

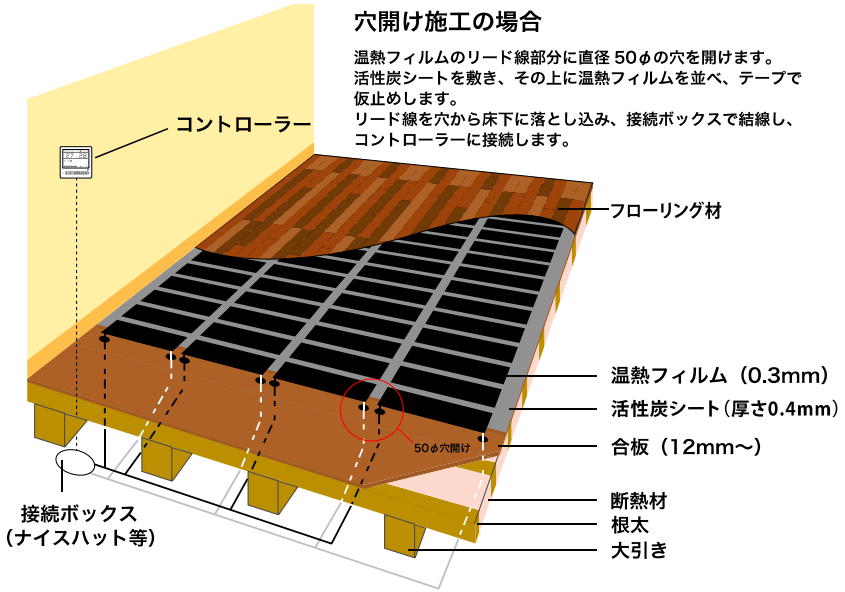
スラブの上にゼットロンを施工し、活性炭シートを敷く。
その上に温熱フィルムを並べ、リード線部分は幅 100mm で
ゼットロンを切り欠き、フィルムをテープで固定します。



◆SWAIFEには標準で3mのリード線がセットになっています◆

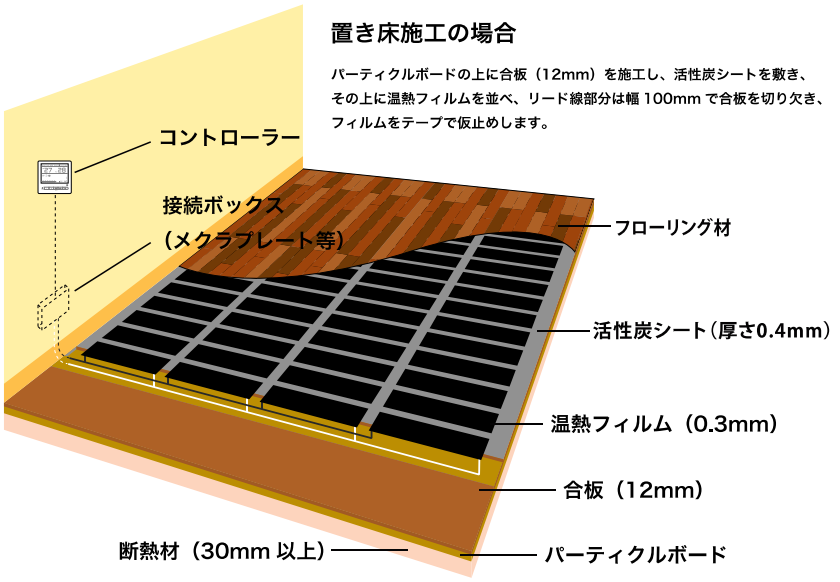
穴開け施工の場合

温熱フィルムのリード線部分に直径 50φの穴を開けます。
活性炭シートを敷き、その上に温熱フィルムを並べ、テープで
仮止めします。
リード線を穴から床下に落とし込み、接続ボックスで結線し、
コントローラーに接続します。



置き床施工の場合

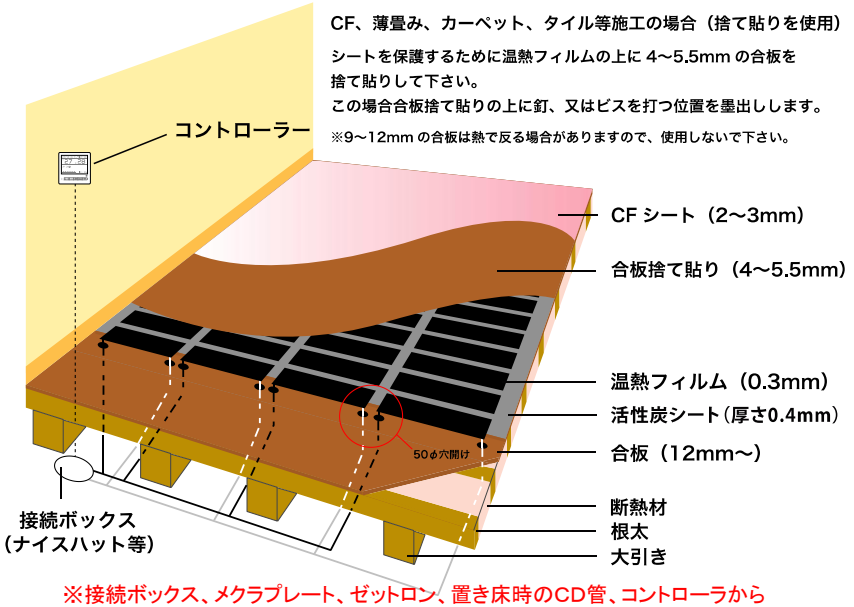
パーティクルボードの上に合板（12mm）を施工し、活性炭シートを敷き、
その上に温熱フィルムを並べ、リード線部分は幅 100mm で合板を切り欠き、
フィルムをテープで仮止めします。



CF、薄畳み、カーペット、タイル等施工の場合（捨て貼りを使用）

シートを保護するために温熱フィルムの上に 4～5.5mm の合板を
捨て貼りして下さい。
この場合合板捨て貼りの上に釘、又はビスを打つ位置を墨出しします。

※9～12mm の合板は熱で反る場合がありますので、使用しないで下さい。



※接続ボックス、メクラプレート、ゼットロン、置き床時のCD管、コントローラから
接続ボックス間の配線等は別途必要になりますので、ご注意ください。

コントローラ仕様

◆KJC-151【1面制御用】

コントローラ寸法
【KJC-151・152共通】

◇室内面露出部
　高さ120mm×幅116mm×奥行き18mm

◇壁埋め込み部
　高さ70mm×幅90mm×奥行き33mm

◇使用電気配線
　VVFケーブル　1.6mmもしくは2.0mm

※アース線は必要有りません

※温度センサーは使用しません

◆KJC-152 【2面制御用】

◆安全に関するご注意◆

●ソファー・テーブル・家具等を、床暖房の上に置く際は必ず床から3cm以上空間のある物を使用してください。
●床暖房の上に保温性のある物（ゴム性質の物）や、厚手のカーペット、などを直接置かないで下さい。
●床暖房の上に、水や液体をこぼしたまま長時間放置しないようにして下さい。
●長時間同じ場所に肌が触れていると、低温やけどをおこす危険性があります。
●直接床暖房の上でお休みにならないで下さい。
●乳幼児やお年寄りの方、皮膚の弱い方や病気の方のご使用は、特に注意が必要です。
●この商品は、単層200V専用です。その他の電源は使用できません。器具の破損や火災の原因になる恐れがあります。
●厚みのあるカーペットや保温性の高い物を直接、床暖房の上に置かないで下さい。仕上げ材の変色や、熱がこもる場合があります。
●湿気や水を使う場所、屋外などへの使用はできません。
●温熱フィルムは、コントローラの規定容量を超える枚数を接続しないで下さい。
●仕上の床材には床暖房対応の物を必ず使用して下さい。
●コントローラの機能に異常が発生した場合は、すぐにブレーカーをオフにし販売店に連絡して下さい。
●長期間使用しない場合は、電源ブレーカーを必ずオフにして下さい。
●施工時には規定の配線を使用し、必ず電気工事士よる適正な施工を行って下さい。誤施工があれば漏電や感電の恐れや器具の破損の原因になります。
●施工手順をよくお読みの上、確実な施工を行って下さい。
●ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

◆SWAIFE各種認定
　工場認定　ISO 14001 認証　ISO 9001 認証
　PL保険加入
　賠償責任保険普通保険約款＋生産物特別約款